



認知症カフェ運営講座

全国の設置数が4,200を超えた「認知症カフェ」。

「認知症カフェ」ができて、まちはどのように変わったのでしょうか。

宮城県沿岸部での取り組みを例に、住民一人ひとりが参加できるまちづくりの視点から「認知症カフェ」の果たす役割を考えていきます。

すでに「認知症カフェ」に携わっている人、行政担当者はもちろん、地域で認知症の人を支えるまちづくり活動に関心のある人、どなたでもご参加いただけます。

とき

2018年 11月18日（日） 9：30～12：15

ところ

多賀城市文化センター 市民会館「展示室」

（宮城県多賀城市中央2-27-1）

講師

武地 一 さん

（藤田医科大学医学部認知症・高齢診療科教授）

進行

浦山 絵里 さん

（ひとづくり工房系すこ代表、ナースファシリテーター）

報告

内海 裕 さん（社会福祉法人功寿会グループホーム「桜の家」統括施設長、宮城県認知症グループホーム協議会会長）

青木 幹子さん（ひまわり会代表）

櫻井 広子 さん（みちのく総合診療医学センター 松島医療生活協同組合 松島海岸診療所）

ほか

参加費

無料

定員

100人（定員になりしだい締め切り）

お申し込み

朝日新聞厚生文化事業団「認知症カフェ」係

TEL：03-5540-7446

主催／宮城県認知症グループホーム協議会、ひまわり会、朝日新聞厚生文化事業団
後援／石巻市、塩竈市、多賀城市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町（順不同）
協力／松島医療生活協同組合